

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム さくら

作成日： 令和4年5月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	消防署立ち合いでの火災訓練を実施しておらず、災害時に認知症の方に火災での緊急を認知してもらえるのか、迅速に移動できるのか、不明である。	次年度は災害を想定し訓練を実施したいが、コロナ禍が続いており消防署立ち合いでの火災訓練は難しいと思われる。マニュアルや緊急連絡網の確認・災害時のシミュレーションをする。	緊急時のマニュアルは配布しており、連絡網も完備しているが、実際に訓練していないため、まずは災害の想定と実際に避難の際の手段・時間をシミュレーションしてみる。また外部評価の次のステップに向けて期待したい内容にあるように、夜間も想定してシミュレーションする。	12 か月
2	49	コロナ禍の上、市内高齢者施設でクラスターが発生し、日常的な外出支援が昨年同様実施できていない。敷地内と施設近所の散歩に限られている。施設内のみでの暮らしなので、外部の空気に触れリフレッシュする事ができない。	コロナ禍が終息したら、利用者さまの(ご家族)のメモリアルな場所へ職員も一緒にでかけ、思い出話を花を咲かせたい。 地域の方との交流の場を設け、親睦を深めたい。	コロナが終息しない限りは取り組みようがない。とりあえず利用者様、ご家族様の情報収集をし、行先を検討したい。地域の方と楽しめるようなレクリエーションを考えたい。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月